

1	議席番号 5 番 大石 巖 議員	開始予定時間 6月13日 午前9時
<p>【教育長の発言の真意について】</p> <p>3月15日付朝日新聞「夏休み短縮教育現場の沈黙」と題する記事、浅井教育長の発言には事実に反する内容や言論・表現の自由を侵害する行為が伺える。</p> <p>以下の点について問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 吉田町議会が主催した「出前会議」を、記事の中では「会は特定政党の議員が開いたもの」と誤った表現で発言しているが、議会に対する事実誤認も甚だしい。発言の真意を問う。 2 記事、「通信の発行をやめて」「傍聴は・・・好ましくない」など、教員の通信・表現の自由を侵害する発言や集会・結社の自由を侵害する非民主的な発言があるが、教育現場における発言としては不適切ではないか。 3 記事、「特定政党の議員」「特定の政党」という表現があるが、この特定政党とはどこか。また、政党の名前を出したのはどういう理由か。 4 教育長の一連の行為や発言は、「個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期する」という教育基本法に反するものではないか。 		

2	議席番号 12番 増田 剛士 議員	開始予定時間 6月13日 午前10時
<p>【第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画について】</p> <p>日本の高齢者人口は、近年一貫して増加を続けており、当町でも平成27年に団塊の世代が65歳を迎え、高齢者人口は増加し今後も高齢化がさらに進行し、後期高齢者も急増していくことが、第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画に示されている。</p> <p>これら事業計画に示されている現状・課題及び今後の方向性について以下質問を致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健康づくりについて、各種の教室を実施しているが参加者は固定化している傾向にあり、健康に関心が低い住民が関心を高めることができるよう働きかける必要がある。と示されているが、健康に関心が低いとする理由は、また、他の原因についての検証は。 2 地域包括ケアシステムについて、「個別ケア会議」「地域ケア会議」「高齢者の生活を支え合う会」のそれぞれの役割と課題解決への道筋は。 3 認知症高齢者支援対策の推進について、「吉田町認知症初期集中支援チーム」を中心とする認知症が疑われる高齢者の早期発見、早期対応のための支援体制強化とは、どのような施策を想定しているか。 4 徘徊高齢者家族への支援事業の「高齢者見守りオレンジシール」交付について、町民への周知、PRが課題であるが対策は。 5 地域における支え合い体制について、近年は個人情報保護の壁が民生委員児童委員の方の活動に影響があると聞く、高齢者やその家族に理解して頂けるための対策は。 6 高齢者の見守りについて、高齢者同士（さわやかクラブ等）の情報交換、町内会・隣組の情報交換で得られる情報が有効であると思うが見守りネットワークに生かせないか。 7 成年後見制度利用支援事業について、制度利用の支援は、「相談強化」「町長申立て」以外に制度利用に結びつくまでの支援、後見人（制度利用者）の支援も含んでのものか。 		

3

議席番号 4 番

蒔田 昌代 議員

開始予定時間

6月13日 午前11時

【生みやすく、育てやすい環境の整備について】

町長は平成27年第2回吉田町議会定例会の所信表明において、4つの柱から成るマニフェストを示されました。4つの柱の3つ目は「福祉社会の建設」でした。

その中でさらに「生みやすく、育てやすい環境の整備」「健康を維持しやすく、社会に参加しやすい環境の整備」および「悩みを打ち明けやすく、手を差し伸べやすい環境の整備」の3つのテーマに分け、掲げております。

その中でも2つのテーマの「生みやすく、育てやすい環境の整備」「健康を維持しやすく、社会に参加しやすい環境の整備」についての活動の進捗状況をお伺いします。

- 1 子どもを生みやすく、育てやすい町として、よしにこパッケージの創設などがありますが、利用者の状況及び妊産婦への今後の事業展開は考えていますか。
- 2 今年度から始まった乳房ケアの助成がありますが、利用者の状況は。

【社会に参加しやすい町民の移動手段について】

平成30年3月に第3期吉田町地域福祉計画、第3期吉田町地域福祉活動計画を策定し、「ともに支えあい、いつまでも住み慣れた地域で暮らせるまち」を基本理念と掲げられました。

施策の展開の中に「基本目標4 地域で安心して暮らせるまちづくり」があります。高齢者が免許を返納しても安心して地域で暮らせるよう、生活環境を整えるために外出・移動支援の充実があります。身体に障害のある方や運転のできなくなる高齢者の方が増えてくると思われますが、町としてどのような考えをもっているのか、お伺いします。

- 1 社会に参加しやすい町として、身体に障害のある方や運転のできなくなる高齢者の方のための、現在、町民の移動手段をどのように支援していますか。
- 2 町として、今後高齢化が進み、町民の移動手段や支援をどのように具体化していくのか考えていますか。

4	議席番号 3 番 遠藤 孝子 議員	開始予定時間 6月13日 午後1時
<p>【TCP・トリビンス・プランの具体化について】</p> <p>吉田町は「次代を担う心豊かな人を育むまちづくり」を基本理念に掲げ、幼児教育の充実と学校教育への「つながりのある教育」を実践、推進をしております。平成30年度は「躍動」をキーワードに事業を展開しています。</p> <p>その第1に「教育環境の充実」を位置づけ「TCPトリビンスプランの推進」を挙げています。(1)子どもの「確かな学力」を保障する環境づくり、(2)教職員が授業に専念できる環境づくり、(3)保護者の教育のニーズに応えた環境づくり、(4)その他教育環境の充実に資する取組の4点をその施策としています。今年度から幼稚園や保育園では新学習指導要領、保育所保育指針に基づいた幼児教育が始まっています。新学習指導要領の開始は、小学校は平成32年(2020年)中学校は平成33年(2021年)と予定され、概ね2、3年前から先行実施することになっています。</p> <p>そこでTCP・トリビンス・プランの具体化についてお伺いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幼児カリキュラムの実践状況とスタートカリキュラムへのつなぎ方の具体的方法は。 2 小中一貫教育の第1回会議の内容と今後の計画は。 3 TCP・トリビンス・プランの効果的実践を目指し教職員との車座対話が始まりました。今後の計画と期待することは。 		

5

議席番号 9 番

八木 栄 議員

開始予定時間

6月13日 午後2時

【中学校の部活動について】

中学校教育において、大きな意義や役割を果たしているといわれている教育課程外の部活動。部活動を通じてスポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであります。近年は、少子化に伴い生徒数も減少し、部活動運営が難しくなっている学校もあると聞いています。

吉田中学校においては、運動部、文化部共に良く頑張っていると聞いていましたが、部活動の運営には、学校教育の一環として教育課程との連携が必要であると考えられるので以下質問します。

- 1 最近、授業終了後中学校の周辺でたむろしている生徒を見かけます。
これまで全校生徒が部活動に所属するものであったと思いますが、本年度からそれが変わったと聞きました。変更になるまでの過程、理由及び内容は。
- 2 本年度変更があり、今後の部活動と学校教育との関係について、どの様に考えているか。

6

議席番号 6 番

山内 均 議員

開始予定時間

6月13日 午後3時

【公共下水道事業計画区域の変更について】

吉田町公共下水道事業は、平成29年度変更事業計画を策定した。

今回の変更区域は、浜田土地区画整理事業対象区域の37.0ヘクタール及び「しらさぎ団地」2.0ヘクタールを足した39.0ヘクタールを既存計画340.0ヘクタールに加えた、事業計画区域面積は379.0ヘクタールとなる。

事業計画選定理由は、浜田土地区画整理事業対象地区については道路整備と下水道管路整備工事を同時に行うことでコストを抑えた効率的な整備が可能であること、「しらさぎ団地」については人口密度が高く、浜田地区からの接続道路の計画があり下水道の接続が可能となったことから選定されたとしている。なお、事業計画区域の変更については、吉田町公共下水道建設委員会に諮問し、適当である旨の答申を得ている。

しかし、この下水道事業計画の変更は、全体計画の期間及び事業費に影響を及ぼすことになると思われる。

そこで質問をします。

- 1 なぜ今、浜田土地区画整理事業対象区域の計画変更なのか、その理由は何か。
- 2 浜田土地区画整理事業対象区域の施工期間と事業費の算定は。
- 3 「しらさぎ団地」での施工期間と事業費の算定は。
- 4 計画変更による全体計画での公共下水道供用への影響は。
- 5 神戸1号汚水幹線の供用開始時期は具体的に何年頃か。
- 6 吉田町公共下水道建設委員会では公共下水道建設委員会資料と環境省の「浄化槽市町村整備推進事業」(資料)との比較検討はされたのか。